

ふるさと探訪

第68回 諏訪神社の獅子舞 (小松町石鎚)

かつては多くの武具が納められていたという蔵の上方の斜面の大杉や、ツガ・トチノキ等の巨樹からなる社叢の中に鎮座する諏訪神社。谷川から聞こえるせせらぎの音が、静けさを際立たせています。



苔むした石積みから見守る獅子舞は、時を重ねても昔のままに：



しかし年に一度、11月3日の秋祭り当日は、山を下りた地元出身者やその子どもたちも集まりにぎわいを見せます。この日奉納される獅子舞は明治時代中期に妙口原から伝わったとされ、昭和56年ごろ小松町在住の石鎚出身者が結成した「石鎚獅子舞」の保存会によって演舞が守り伝えられてきました。その舞いは奉納のためのものであり、これまで神社の境内を出たことはありません。

現在は地域の出身者だけでなく、小松地区の子どもたちが獅子を務めています。昨年の秋祭りでも、1カ月にも及ぶ練習を重ね、見事な舞い姿には、惜しめない声援が送られ、境内を温かい空気が包んでいました。



▲巨樹が茂るその奥に静かにたたずむ諏訪神社
▲ユーモラスな動きで獅子に対するひよつこの舞い



▼人口のうごき

人口	114,623人	(-40人)
男	54,945人	(-18人)
女	59,678人	(-22人)
世帯	48,127世帯	(+15世帯)
平成22年11月末日現在		
住民基本台帳登録数()	内は前月比	

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

新年1月1日に中学校時代の同級会があります。卒業後35年目にしての開催。皆、等しく50歳になっています。世話人を務める友人から、100人超の参加者をめざして奮闘中とのメールが。さらに、同級生の内9人も既に鬼籍に入っているとの信じ難い事実も…。毎年、叶わぬと知りつつ立てている年頭の目標も、「来し方と行く先」について思いを巡らせたうえ、ひっそりと決意すべき年齢になったのかも知れません。本当なら懐かしい輪の中心にいるはずだった奴のためにも、正月には必ず出席しようと考えています。(ま)

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.65 アメリカヒドリ (冬鳥)

北米大陸に生息するヒドリガモの近縁種で、日本には少数が越冬のため飛来する珍しいカモです。雄は額から頭頂が白く、目の後方に光沢のある緑色の帯が見られます。ヒドリガモとの交雑個体もいて識別は大変困難です。西条では加茂川河口や高須海岸でヒドリガモの群れに混じってまれに見られます。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

謹賀新年  肉の

TAJIMA

西条市氷見 とうしょく氷見店内 ☎0897-57-7071
西条市丹原町とうしょく丹原店内 ☎0898-68-0040

医療保険が適用される
訪問マッサージ

無料お試し実施中!

対象となる方 ●歩行困難 (年齢に関わらず) ●麻痺や拘縮などの症状
脳血管障害後遺症等、寝たきりの方・寝たきりを予防したい方

お電話でもお気軽にお問い合わせください。
0120-309-456
在宅療養マッサージのみ 西条市洲之内甲644



特集記事 支所だより S I C S 情報最前線 お知らせ 催 し 講座・教室 募集 施設ガイド 人権・同和教育他 カメラサポート 文芸広場他 各種相談 保健センター 当番病院 他